

2013年7月18日 第2130回例会報告

【点鐘・ロータリーソング】

“それでこそロータリー”

【来客紹介】

◎ゲストスピーカー

“副会長・職業・社会奉仕委員長就任挨拶”
卓話者 秋庭さん、河原さん、田崎さん

○ゲスト

東京東RC	金 谷	正 しよ う	次 氏
東京東RC	河 野	と も ゆき	氏
石川さんのゲスト	関 根	好 い ち	氏
向島消防署	警 防	課 課	
	竹 石	毅 つよ し	氏
向島消防署	地 域	防 災	担 当
	か わ に し	し ん	い ち
	河 西	進 い ち	氏
向島消防署	吉 野	弘 道	氏

【会長報告】

7月15日勝海舟顕彰会に出席し、代表して10周年の挨拶をしてまいりました。

【委員会報告】

- 出席率報告・出席委員会(石川さん)
- ニコニコ報告 (小川(守)さん)
- 本日の司会 (大塚(一)さん)

【ニコニコBOX】

東京東RC

[金 谷 氏] 御挨拶にお伺いしました。

[河 野 氏] 本年一年間よろしくお願ひいたします。

[廣 田 氏] クラブのお陰で、海の日、海舟フォーラム無事に終了することが出来ました。田崎社会奉仕委員長にクラブを代表して挨拶して頂きました。参加頂いた皆さん、ご苦労様でした。

[今 井 氏] 一昨日、昨日は研修会、今日は研究会、明日は区役所の会合と、何故か続いています。

[榎 本 氏] 誕生日(古希)を自祝して。

[小川(守)さん] 例会終了後、新宿にて会議です。暑いのに良くやりますよね!!

[小 林 氏] お盆前に専門病院に行き、診察してもらった結果手術は見送られました。お盆の檀家まわりも無事こなし、

昨日はステーキを300g、ガーリックライス、サラダ等で満腹しました。

[遠 藤 さん] 日経MJの1面に載りました。

[田 尻 さん] 皆様、暑い毎日ですが、健康管理にご留意下さい。

[板 橋 さん] 誕生日を自祝して。

[大 沼 さん] 隅田川花火大会を控えて、忙しい日を送っています。それにも暑い日が続いております。

[西 田 さん] この暑い中ともかく元気で過しています。

[滝澤(健)さん] 長男の娘に曾孫(男児)が生まれました。

[大塚(一)さん] 四半世紀振りに司会です。少し緊張しています?

[滝澤(伸)さん] 家の中で転んで、頭と背中をうちまして動けなかつたんですが、やっと動けるようになりました。皆様もどうぞ気をつけて下さい。

[小 池 さん] 今週の日・月で軽井沢ゴルフに行って来ました。涼しくて最高でした。

[小川(隆)さん] ここ二、三日は涼しく良かったですが、今日から暑くなりそうです。

[秋 庭 さん] 先週は足の血管手術の為休みました。就任挨拶が遅れてしましました。

[田 崎 さん] 7月15日、勝海舟顕彰会10周年記念に出席してきました。また廣田会長の代りに社会奉仕委員長として挨拶してきました。本日、向島消防少年団吉野団長をはじめ、消防署の方々2名を宜しくお願いします。

[大 河 内 さん] 最近は、色々な方々の出会いが多く、楽しく過せています。

本日合計	58,000円
累 計	184,000円

【卓話】

7月18日の卓話は、“副会長・職業・社会奉仕委員長就任挨拶”と題して、秋庭さん、河原さん、田崎さんにお話いただきました。



東京向島ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

向

島

RI会長方針 ロン・バートン

**ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を**

会長方針 廣田 健史

**ロータリーを語り
友情を深めよう!**

東京向島ロータリークラブ

- 会 長: 廣田 健史
- 幹 事: 今 井 達
- 庶務委員長: 小 池 肇

例会日: 木曜日 12:30~13:30

例会場: 東武ホテルレバント東京
TEL 03(5611)5611
FAX 03(5611)5629

事務局: 墨田区錦糸1-1-5 Aビル6階
TEL 03(5637)4606
FAX 03(5637)4611

2013年7月25日(第2131回)例会

本日の卓話	卓話者
「落 語」	落 語 家
	桂 米 助 氏
	紹介者 大沼さん

8月1日の卓話	卓話者
「会員増強及び 拡大月間に因んで」	メンバ 金 谷 さん

出席者	欠席者	出席率	前々回の出席率の訂正
会員 44名中 32名	12名	80.0%	86.84%

会員情報

「吾妻メリヤス有限会社」

吾妻メリヤス有限会社を紹介させて頂きます。

昭和39年の創業より、レディス・メンズ・キッズ・DOGのニット製造加工及び販売を行っております。100%自社工場での裁断加工・国内生産にこだわり、短期サイクル・小ロッドによる迅速な対応によりお客様のニーズにお応えしています。

東向島の自社工場には6mまでの反物を延べる延反機、パーツの種類ごとに大まかにカットするライトカッター、襟や袖など各パーツを細かくカットするバンドナイフなど、どれも熟練した職人が手仕事で使用する充実した設備を揃えております。

これからも、私たちが生きていくために必要不可欠で当たり前の「衣」に喜びや楽しみを感じてもらえる製品づくりを心がけ、さらに邁進していきたいと思っております。

吾妻メリヤス有限会社

〒131-0032
東京都墨田区東向島2-5-3

TEL: 03-3612-8477
FAX: 03-3610-1636

<http://www.azuma-meriyasu.com/>

代表取締役
小池 肇



「勝海舟フォーラム」

10周年記念パネルディスカッション
特別企画=海舟ゆかりの子孫大集合

連日の猛暑の中、7月15日にすみだリバーサイドホールにて開催した「勝海舟フォーラム2013」は、お蔭様をもちまして過去最多の700名を超える来場者にて盛会に終了することができました。「海舟ゆかりの子孫大集合」という企画と顕彰会の活動が新聞記事にとりあげられたことにより多くの方にご注目されたことは、これからこの活動に大きく弾みがつくものと確信いたしました。

当日のアンケートによると、「幕末の偉人が身近に感じられた」「興味深い話が聞けてよかったです」「歴史をもっと勉強したくなった」など、好意的な意見がとても多く寄せられました。勝海舟顕彰会関係者一同、海舟の偉業を伝えながら、多くの方に楽しく歴史を学んでいただけるよう今後も活動を続けてまいります。御協力下さいました皆様に心よりお礼申し上げます。

◇ご出席いただいた海舟ゆかりの子孫の皆様

榎本隆充氏（榎本武揚曾孫）
坂本 登氏（坂本龍馬実家坂本家九代目）
岡上汎告氏（坂本龍馬姉乙女曾孫）
小西 圭氏（ジョン万次郎玄孫）
高山みな子氏（勝海舟玄孫・五代目）

勝海舟顕彰会

会長 廣田 健史



月刊向島俱楽部

和牛処「やまだいら」

当クラブ樋口敏郎会員が和牛処「やまだいら」を新装オープンしましたので、早速、7月19日にそのお店で祝う会が行われました。親睦委員会の榎本委員長、慶弔委員会の糸井委員長をはじめ、廣田会長、今井幹事と出席者総勢約25名でお祝いを致しました。

「やまだいら」は趣きのある古民家風のつくりになっており、柱や梁は新潟より株式会社山平屋の樋口丈吉会長の実家だったものを移築して建築されたそうです。

その建物は、江戸後期か明治に創られたもので明治44年より山平村役場としても使われておりました。参加者一同、古民家の佇まいの中でおいしいお肉を堪能してまいりました。

(小松崎)



「第36回 隅田川花火大会」

日 時	平成25年7月27日(土) 19:05~20:30
雨天の場合	荒天等のため実施不可の際は、翌28日(日)に順延。両日とも実施できないときは中止。
順延または中止の決定	荒天などの場合には当日の午前8時に、雨天など実施の可否が確定できない天候の場合は当日の午前10時に、それぞれ実施の可否を決定します。
会 場	第1会場：桜橋下流～言問橋上流 / 第2会場：駒形橋下流～廻橋上流
打上数	約20,000発
お問い合わせ	隅田川花火大会実行委員会事務局 TEL. 030-5608-1111(代表)

亨保18(1733)年に「両国川開き」として始まった両国の花火は、戦争などによりたびたび中断し、また交通事情等の理由により、昭和36(1961)年を最後に終了しました。しかし、その後、多くの関係者の努力により、昭和53(1978)年「隅田川花火大会」として復活し、今日まで回を重ね、多くの方に喜ばれ、江戸の華としての伝統を発展させてきました。

歴史ある隅田川の花火は全国に知れ渡っている。今に伝わる「隅田川花火大会」の名称は昭和53年からと意外と新しい名称なのです。では、その前の名称はと言うと「両国の川開き」が呼び名として昭和36年まで使用され翌年(昭和37年)交通事情の悪化に伴い開催されなくなりました。

※全国花火コンクールは12回で終了。また、昭和34年からは打上花火の大きさも制限され5寸玉は打上できなくなりました。

※昭和36年までは打上場所は両国橋上流で行われていました。

時が経ちビルの谷間に開いた大きな花火、昭和53年「隅田川花火大会」と名を改め、ビルで開まれた隅田川で復活しました。また、打上場所もさらに上流へ移動し、打上会場も2ヶ所となり多くの方々に観ていただける配慮が施されました。

復活に至るまでには、多くの時間と協力いただいた諸父による「江戸風情」を楽しむ娛樂復活への想いのたまものです。

川開きと花火その由来(神事から娛樂へ)

歴史的記録の残るものは両国の花火が最古となっている。時代は江戸へ。享保17年(1732)の大飢饉で多くの餓死者が出、更に疫病が流行し国勢に多大な被害と影響を与えました。

幕府(8代将軍吉宗)は、翌18年(1733)5月28日(旧暦)犠牲となつた人々の慰靈と悪病退散を祈り、隅田川で水神祭を行った。この時に、両国橋周辺の料理屋が公許(許可)により花火を上げたことが由来とされています。

すみだトピックス